

【0004・水俣病熊本放送映像資料】

資料群概要

作成主体：熊本放送（RKK）

資料群名称：水俣病熊本放送映像資料

年代：1969年－2009年

要約：水俣病熊本放送映像資料（以下、本資料群）は、1969年から2009年までに熊本放送（RKK）が制作した水俣病に関するドキュメンタリー番組およびテレビ・ドラマ、計12ファイルの視聴覚資料からなる。

総量：DVD 12枚

受入番号：0004

言語：日本語

資料群の管理と利用に関する情報

出所：

2010年4月、熊本放送より、水俣病に関するドキュメンタリー番組およびテレビ・ドラマの映像をコピーしたDVDの提供を受けた。なお、本資料群の寄贈担当者は、上記の映像作品の多くでディレクターまたはプロデューサーを務めた、村上雅通氏である。

他機関所蔵情報：

本資料群の一部は、放送ライブラリー等にも所蔵されている。

関連する資料群：なし

整理方法についての情報：

本資料は1媒体に1番組のみが収録されていたため、1番組を1ファイル、1アイテムとした。すべてのファイルをデジタル化・DVD化した。

作成者の権利について：

資料群全体は大原社会問題研究所環境アーカイブズが所有。著作権は個々の資料ごとに異なる。

視聴覚資料の利用について：

視聴覚資料については、利用目的が研究・教育目的であり、かつ、閲覧室内の視聴ブースでの閲覧あるいは学内での授業利用に限り、デジタルコピー（DVDまたはBlu-ray）

を用いての利用を認める。なお、原則として視聴覚資料の複製は認められない。また、著作権や個人情報保護等の観点から、利用を制限する資料が存在する。詳しくは職員に問い合わせること。

引用する場合の表記方法（一例）：

受入番号 0004 水俣病熊本放送映像資料，ファイル番号，法政大学大原社会問題研究所
環境アーカイブズ所蔵

作成主体についての情報

熊本放送は、熊本県熊本市にある放送局である。同局では、開局当初より水俣病についての取材・報道がおこなわれていたが、本格的なドキュメンタリー番組の制作は1969年の『111 奇病 15年のいま』（ファイル番号 0001）が初めてであった。ただし、その後もドキュメンタリー制作は活発であったわけではなく、水俣病のドキュメンタリーが継続的に制作されるようになるのは、ようやく1990年代後半に入ってからである。本資料群は、そのなかでも寄贈担当者である熊本放送社員（当時）村上雅通氏関わった映像作品を中心とした12本のテレビ番組からなる。

【参考資料】

藤田真文（2007）「ニュース報道における『水俣』の表象」小林直毅編『「水俣」の言説と表象』藤原書店。

熊本放送（1994）『熊本放送40年史』熊本放送。

資料群の内容

本資料群は、水俣病に対する、市民、行政、医療、マスコミによるそれぞれの対応の歴史と現状、問題点などを取り上げた、熊本放送制作のドキュメンタリー番組およびテレビ・ドラマからなる。

資料群概要作成者* RA 西田善行、兼任研究員 武内保

*最新版（2025年公開版）：武内により加筆・修正